

# 村の駅だより

平成28年4月20日発行

第1号

「村の駅とよおか(仮称)」

開設準備委員会

豊丘村役場 産業建設課

TEL 0265-35-9056

6次産業化の具体的な取り組みとしてスタートした「村の駅とよおか(仮称)」につきまして、今後不定期ではございますが「村の駅だより」を発行し、村の駅の進捗状況のご報告やご案内などさせていただきます。

お気づきの点などございましたら、何なりと、ご意見・ご要望等お申し付けいただければと思います。

## <村の駅 今までの経緯>

平成24年3月に「農村フォーラム21」を開催した際、参加頂いた方々のアンケートから「村の豊富な資源や農産加工品を更に活かすための実践が必要」と多くの要望が寄せられました。この結果を受けて、農工商連携の6次化プロジェクトが平成24年に設立されました。

また、高齢化による離農者増加や、後継者や担い手が育たない状況は当村も例外ではなく、このままでは農村資源や自然景観が失われ、若者が少ない農村になってしまう懸念があります。

平成25年から第5次豊丘村総合振興計画を策定するにあたり、今後のリニア開業、三遠南信道開通も見据え「豊丘村まるごと6次産業の村づくり」を推進し、儲かる農業、生き甲斐の農業、担い手育成のためにも6次産業に取り組む重要性が議論される中で、

・豊丘村民が、地元の農産物を買う場所がない……農産物直売所  
・村内に昼食を食べる場所がない……農家レストラン  
の必要性が話し合われ、平成26年度に「村の駅とよおか(仮称)」構想がスタートいたしました。

## <「村の駅とよおか(仮称)」概要>

とよおか旬の市場／南信州の台所  
～アルプスを望む新鮮市場～

村の駅とよおか(仮称)

産地直売部門

農産物加工部門

都市農村交流部門

レストラン部門

国内の類似施設(道の駅)は、75%が観光客を主体とした施設であるが、豊丘村の立地条件などを調査した結果、観光客主体型の施設では、特に平日の運営に大きな課題を残す事から、「村の駅とよおか(仮称)」は近隣市町村の皆さまをメインのお客様としたビジネスモデルとすることとした。

## <課題と商業施設との連携>

平成27年4月から具体的検討に入ると、農産物直売だけの不便さや、狭い村内で直売所を単独で設けることは、地元スーパーと競合し、足の引っ張り合いになる可能性がある。などの課題と、村民の皆様のニーズに合わせた利便性アップの検討や、協議、意見交換を実施して参りました。

新たな方向性として、農産物直売所、地元農畜産物満載のレストラン、農産物加工所、日用品食料品販売店(パルム)などを集約し、新たな商業集積地をつくり、衰退を続ける農業や商業の復活につなげ、利用客の利便性向上とともに、店舗も相乗効果により販売量増加を目指す施設とする方向性で議論を深めてきました。

候補地については、4つの視点を中心に検討しました。

- ① 今後重要路線となっていく「竜東一貫道路」沿いであること。
- ② 商業施設としての視点で検討すること。
- ③ 新万年橋開通を見据え将来の交通量を予想する中、開通前においても安定した交通量があること。
- ④ 村内のお客様の利便性を考慮した立地であること。

以上の視点で様々な協議や、調査を行う中、新万年橋開通前においては交通量調査からも南から来た通過車両の多くは役場南交差点を左折し、明神橋を渡ってしまうことから、役場南交差点よりも南側の竜東一貫道路沿いで、かつ一定のスペースが確保できる場所を候補地として検討した結果、林里地区を候補地といたしました。

## <候補地(案)>

重要路線となる竜東一貫道路沿い、中央保育園南西



## <「村の駅とよおか(仮称)」名称募集について>

全国にアピールし、未永く皆様に愛され親しまれる「道の駅」の名称を募集いたします。

募集方法や、審査基準に関しましては、決定次第、改めてお知らせいたします。



## <「道の駅登録」を予定しています>

村の駅は、国道交通省「道の駅」の登録を予定しています。

- 地図やカーナビに掲載され、全国への訴求力が高い
- 豊丘村周辺は道の駅空白地帯となっており、同様の施設が離れており、通過客の利用が見込める、などのメリットがあります。24時間利用可能なトイレ、情報発信施設の設置などにより、多くの来店客が見込めます。

## 「村の駅とよおか(仮称)」開設で広がる市場と、現状の課題解決

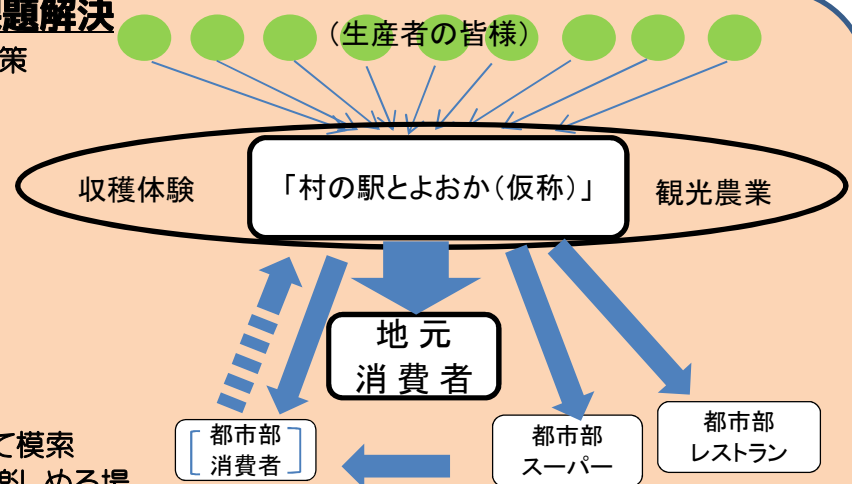
村の駅が開業することにより、今までより「新たに広がる市場」と、「村の課題対策にも有効」であることが期待されています。

### ●村の駅開業で広がる市場

- ① 村の駅を通じた地元のお客様への販売
- ② 農産物が村の駅に集まる事で都市部の消費者へ販路拡大
- ③ 都市部消費者へ販路拡大(PR)することで、来村きっかけの促進
- ④ 都市部レストランへの販路拡大(営業)
- ⑤ 都市部スーパーと連携し直売設置(都市部消費者の利用)

### ●村の課題対策にも有効

- ① 買い物弱者対策……地区と拠点を結ぶ送迎網の整備を今後必要な課題として模索
- ② 交流の場づくり……お子さん、お孫さん連れの方々や、高齢者の皆様が集い楽しめる場
- ③ 遊休農地対策……新たな販路拡大(流通量増加)は、生き甲斐農業による遊休地対策





<各施設(案)>

「村の駅とよおか(仮称)」

農産物直売所・物販の販売

「明るい里山で採れた農産物を取り扱う農産物直売所」  
～豊丘村直売所「くだもの」の里～



- ・豊丘村を中心とした近隣地域の農産物を中心に取り扱いします。
- ・豊丘村と交流のある市町村などの特産品を取り扱います。
- ・全国「道の駅」との商取引により、特産品の相互流通を行います。
- ・加工品／観光土産／宅配コーナー／松茸等、その他商品販売
- ・高齢出荷者のための集荷システム模索

レストラン

明るい太陽を取り込む陽気な雰囲気・解放感のあるお店  
豊丘村から見る青空はとっても綺麗。その青空のもとで育った新鮮野菜。  
そして、なんだか楽しい気分でお食事。「ら・ら・ら」という気分であげに  
お食事していただきたい・・・。

- ・ランチタイム・・・メニューは今後検討(地元向け、観光客向け)
- ・ティータイム・・・おしゃべりセット  
(お母さん同士や、女性同士の語らいの場に)



テイクアウト

・焼きたてパン工房

「焼きたてふんわり」パン  
お子さん、お孫さんのおやつに。

・アイスクリーム工房

「手づくりアイスクリーム」  
豊丘産の果物などを使用した  
アイスクリームなども用意



農産物加工所

地元の農産物を使った各種ジュース  
漬物、菓子、惣菜、弁当など。  
弁当・総菜は人気商品  
新メニュー開発などを  
進めて参ります。



都市農村交流事業

- ・都市部からの収穫体験受入  
直売所と連携し相乗効果を発揮
- ・各種オーナー制度
- ・村内プログラムツアー  
村内体験型プログラムツアーの  
企画と連動し、相乗効果を発揮  
出来るプログラムツアー策定

その他

- ・フリースペース・・・会合など。
- ・屋根付広場・・・雨天でも利用可  
(イベントなど)
- ・情報提供施設、休憩施設
- ・駐車場(EV電気自動車充電設備)
- ・トイレ(24時間利用可)
- ・日用品、食料品販売店舗  
出店希望企業を商工会と協議

<年間収支見通しについて(採算ベース)>

※3/29 住民説明会内容より抜粋

◆収入の部

農産物直売・土産品販売	92,000千円
レストラン部門(テイクアウト含む)	25,900千円
農産物加工部門	35,000千円
都市農村交流部門	18,000千円
年間売上高	171,000千円
年間総利用者数	112,000人

◆支出の部

流動費(仕入原価)	106,750千円
固定経費 (人件費、光熱費、加工品製造費等 広告宣伝費、法定福利費、通信費等)	62,290千円
年間支出計	169,000千円
初年度年間収支	+2,000千円

<特記事項>

- ・道路交通量実績をもとに、道の駅調査  
利用率係数、東日本道路(株)の設計  
要領係数を利用して算出。
- ・算出基準の最小値を用いて利用人数を  
割り出し、収支見通しを立てた。
- ・理想の設定ではなく、身の丈にあった  
見通しを立てることで、収支の安定化  
を最優先として算出した。

<村の駅 運営新法人設立>について

4月13日(水)に役場会議室にて村の駅開設準備委員会・法人設立部会  
を開催いたしました。部会では、会社の運営方式、出資形態などの話し合  
いが行われました。

また、4月18日(月)には、開設準備委員会を開催し、法人設立部会で  
議論された内容を確認致しました。

今後法人設立に向けて、発起人会を開催し、専門家の意見をお聞きしな  
がら、必要かつ十分な研究、検討を行いながら設立して参ります。  
進捗状況は、「村の駅だより」を通じて、皆様にご報告させていただきます。

<村の駅 運営新法人 出資ご協力について(予告)>

村の駅を運営する新法人は、「株式会社」を予定しております。  
現世代だけでなく、次を担う若い世代のためにも、これからの豊丘村を  
盛り上げていこうという趣旨に出来るだけ多くの皆様に賛同いただき  
たいと思っております。

村の駅を運営していく法人に対しては、多くの皆様に出資いただくこと  
で地域の皆様が、「気軽に利用出来て、安心な地元の農産物が揃った愛さ  
れる皆様のお店」にしていきたいと考えております。

出資者募集に関しましては、次回ご案内をいたしますので、どうぞよろ  
しくお願い致します。

<パブリックコメント募集>

1.意見の募集

村の駅に関しまして約1か月の期間を  
設け村民の皆さんの意見を募ります。  
【氏名・住所を明記し、直接持参するか  
郵送・FAX・Eメールで提出してください】

2.いただいたご意見は、検討・考慮の上、  
政策決定に反映させていただきます。

3.意見等の公表(役場・ホームページ等)  
詳細は役場ホームページをご覧ください

<3月定例議会 付帯決議事項について>

- (1) 同構想について、村民の理解及び具体的な提案を事業に  
反映できるよう努めること。
- (2) 同事業を運営する組織(法人)を早急に設立し、当該組織  
内での必要かつ十分な研究、検討を経る中で建物の素案  
を決定し、その後設計委託を行うこと。

以上の2点が、3月定例議会・予算議決の際に付帯決議されま  
した。このことは、真摯に受け止め業務を遂行してまいります。

<自己紹介>

氏名：高木 信康(統括支配人)  
※平成27年4月に、家族とともに、この  
豊丘に移住して参りました。  
皆さまのお知恵と、行動力、  
そして営業努力によって、  
より良い村の駅を作って  
行きたいと思っております。  
どうぞよろしくお願い致します。



「村の駅とよおか(仮称)」  
魅力UP ↑↑ ～アイデア募集!!～



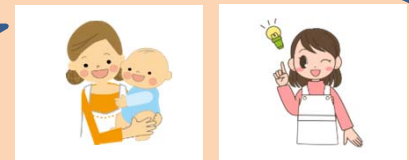
「村の駅とよおか(仮称)」は  
・訪れるたびに、少しうれしさを感じる村の駅  
・行くたびに、少しワクワクする村の駅  
～ほんの少しうれしくて、  
わくわくする村の駅～

目指したいのは、そんな村の駅です。

皆様のアイデアで魅力ある施設にしませんか?

アイデア募集方法は3つあります!

- ① 村内どこでも参ります。  
2～3人の集まりでも構いません。夜は家事がある  
ので、日中しか難しいというお母さん方のお集まり  
や趣味のお集まりなど気軽に呼んで下さい。
- ② 役場にも気軽にお越しください。  
不在の時もありますので、事前にお電話いただけ  
ば幸いです。
- ③ お電話・メールなどでも結構です。



★「村内どこでも行きます!」  
★「お電話・メールでのアイデア募集」  
TEL 0265-35-9056  
✉ takagi-n@vill.nagano-toyooka.lg.jp  
「村の駅とよおか」高木までお願いします。  
全てのアイデアを採用することは費用面、  
設備面の課題もあり、難しいと思いますが、  
少しでも皆様のご意見やお気持ちを大切に  
して魅力アップの店舗づくりに活かしたいと  
思います。